

出演者プロフィール

糸賀一雄記念賞音楽祭

糸賀一雄記念賞の受賞者を県民で祝うことを目的に2002年にスタートした本音楽祭は、様々な垣根を越えたボーダレスで魅力あふれるステージとして、人が表現することの本質を広く世間に投げかけてきた。今年度は「星めぐりの旅」をテーマに、12月4日ひこね市文化プラザで開催予定。



とんてんかんてんワークショップグループ

滋賀県の北部、湖北地方に伝わる民俗芸能「鍛冶屋太閤踊」。独特のパチさばきと誘いかけるような童音頭(わらべおんど)の節回しをいかしつつ、和太鼓の響きを加えた躍動感と創意あふれる演奏を令和3年度音楽祭で披露した。



シンポジストプロフィール

奥田 知志 氏 認定NPO法人抱樸 理事長

1963年滋賀県生まれ。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、(公財)共生地域創造財団代表理事、(一社)生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、(一社)全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル」出演。著書多数。



玉木 幸則 氏

(一社)兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事

1968年兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳で肢体不自由児療育施設に入所。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも高等学校では養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部卒業後、自立生活センター・メインストリーム協会勤務。2013～2020年、西宮市社会福祉協議会勤務、相談支援や生活福祉資金、日常自立生活支援事業などに携わる。現在、NHK Eテレ「バリバラ」にレギュラー出演中。



大平 眞太郎 氏

(社福)グロー法人事務局福祉事業部ケアシステム推進課長
1975年大阪府生まれ。2001年(社福)びわこ学園入職。重度障害者への直接支援、相談支援業務に従事。2011年(社福)滋賀県社会福祉事業団(現・グロー)入職。2016年厚生労働省障害福祉課・相談支援専門官、2019年滋賀県障害福祉課・障害福祉専門幹として相談支援体制整備および障害者プランの策定業務を担当。2021年より現職。滋賀県障害者自立支援協議会事務局(県委託)事務局長。



田中 正博 氏 全国手をつなぐ育成会連合会 専務理事

1982年民間福祉団体このみ設立に参画。その後、東久留米市さいわい福祉センター、社会福祉法人を経て、2004～2008年国立のぞみの園。2010年障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員。2011年から全国手をつなぐ育成会連合会常務理事を経て現職。共生社会フォーラムでは語り部養成研修アドバイザー。



お申し込みは、ウェブサイトまたは別紙参加申込書にてFAX・メールにて！
【申込締切：2022年11月15日】 <https://inclusive-society.net/> →



【厚生労働省主催】 令和4年度 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

共生社会 フォーラム

in 滋賀〔全体フォーラム2022〕

福祉の思想に学び、実践し、語る人に

令和4年 **11月22日(火)～23日(水・祝)**

会場：滋賀大学 彦根キャンパス 講堂

定員：104名 / 参加無料【要申込】

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、社会の一部には、障害を有する方に対する否定的な意見や偏見が一定数存在することを踏まえ、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

実施・申込・問合せ 公益財団法人 糸賀一雄記念財団

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-1707 FAX 077-567-1708 E-mail itoga-oubo@itogazaidan.jp

コース 共生社会フォーラムin滋賀[全体フォーラム2022]は大きく3コースで構成されます。

【コース①一般参加】	【コース②研修参加】	【コース③交流参加】
表現活動・映像・シンポジウム	語り部等養成研修	実践報告・交流会
糸賀一雄記念賞音楽祭の映像や、とんでんかんてんワークショップグループによるパフォーマンスの鑑賞、「糸賀一雄」の思想と実践についてまとめたNHK番組の視聴をします。また、今回は全体フォーラムとしてシンポジウムも開催します。	福祉施設で職員を指導・助言する立場にあり共生社会の基本理念を語り広める「福祉支援語り部」を養成する第1分科会、福祉分野に関心を持つ学生や福祉職新任者の方を対象とする第2分科会に分かれてのグループワーク研修を行います。	これまで各ブロックで開催した研修の受講経験者とメンターによる実践報告・交流会を開催します。研修受講時に作成したアクションプラン等に基づき、職場や地域で行った実践例を情報交換し、各人の今後の展開について話し合います。
*1日目14:30までのプログラムにご参加いただきます	*コース①に加え、2日間すべてのプログラムにご参加いただきます	*1日目15:00～のプログラムにご参加いただきます

参加申込方法・定員 コース①・②は、ウェブサイトからお申し込みいただけます。

コース①のみ参加の「一般参加」とコース①・②両方に参加する「研修参加」、いずれも事前の申込が必要です。ウェブサイト、もしくは別紙参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。「一般参加」に参加条件はありませんが、「研修参加」は右の条件を満たす方が対象です。また、研修参加者は事前にお送りする資料を読んで研修に臨んでください。コース③の受講対象者には個別にご案内します。	<第1分科会>福祉支援語り部(中堅) 福祉職や教員および行政職としておおむね5年以上の現場経験を有し、職場で中堅職員、管理者等として職員を指導・助言する立場にある人。研修を経て共生社会の基本理念を職場内で実践し、語り広めることが期待できる人で、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦された人。
定員：コース①60名／コース②24名(第1分科会16名／第2分科会8名)／コース③20名(他オンライン視聴多数) 申込受付締切：11月15日(火) ※定員になり次第、締め切りとします。	<第2分科会>学生・新任者 在籍する学部等を問わず、福祉に強く関心がある大学生等。または、福祉施設・事業所等に就職しておおむね数年以内の新任者や内定者。

会場アクセス

滋賀大学 彦根キャンパス 講堂

JR「彦根駅」から直行バスまたはタクシーで約10分

滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号 TEL 0749-27-1005



会場に駐車場はありません。公共交通機関でご来場いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場をご利用ください。

スケジュール

出演者やシンポジストの紹介は裏面をご覧ください。

▶▶ 1日目 令和4年11月22日(火) ※コース①は14:30まで

コース①・②対象	9:45 - 10:00	開会あいさつ
	10:00 - 10:50	表現活動(映像鑑賞) 糸賀一雄記念賞第20回音楽祭 表現活動 とんでんかんてんワークショップグループ 活動紹介 みんなでつくる“ぐるりまるごと劇場”プロジェクト
	11:00 - 12:00	映像 NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」
	13:00 - 14:30	シンポジウム 「いのちに意味がある～共生社会フォーラムで何を大切にしてきたのか～」 シンポジスト 奥田 知志 氏・玉木 幸則 氏・大平 眞太郎 氏・田中 正博 氏
15:00 - 17:30 コース②対象	グループワーク研修①(第1分科会「福祉支援語り部」グループ／第2分科会「学生・新任者」グループ) いずれの分科会でも福祉の思想・普遍的価値の共有を目的として、基調講演や映像＆トークプログラムを題材に、個人の内面に向き合うワークとグループディスカッションを行います。	
	15:00 - 16:00 コース③対象	実践報告・交流会 これまでのフォーラムにおけるコース②受講経験者とメンター経験者を対象に実施します。

▶▶ 2日目 令和4年11月23日(水・祝) ※コース②の受講者のみ対象

9:30 - 12:00 コース②対象	グループワーク研修②(第1分科会「福祉支援語り部」グループ／第2分科会「学生・新任者」グループ) 第1分科会では、やまゆり園での事件を題材に、“生きる意味のない命がある”“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する意見などに返す言葉をもつためのワークを行います。第2分科会では、一般社団法人兵庫県相談支援ネットワークの代表理事でNHK Eテレ「バリバラ」の出演などで知られる玉木幸則氏とともに、“そもそも障害とはなんだろう?”をテーマに率直に語り合います。
13:00 - 15:30 コース②対象	グループワーク研修③(第1分科会「福祉支援語り部」グループ／第2分科会「学生・新任者」グループ) 第1分科会ではグループワーク研修①や②を踏まえて、それぞれが自らの職場に戻って語りの場を持つことができるよう、メンターのサポートを受けながらアクションプランを作成します。第2分科会では、グループワーク研修②の議論を引き継ぎながら、玉木幸則氏とともに、“学生・新任者一人ひとりが抱える生きづらさ”を言葉にししながら、“福祉＝幸せの追求”や“そもそも人が生きること”について、向き合います。
15:30 - 16:00	まとめ・ふりかえり／閉会あいさつ

※ラストメッセージ この子らを世の光に

日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。



.....新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いします。発熱がある場合はご欠席ください。感染状況により、両日ともプログラムは変更になる場合があります。.....

【共生社会フォーラムin滋賀 全体フォーラム2022 参加申込書】

ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

法人名 (事業所名) または学校名			
	*コース①一般(基調講演等)の参加をご希望の方は、この欄は未記入でも結構です。		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		FAX
	E-mail	@	

参加希望コース ※1	職名・肩書き／学部・学科・学年	参加者氏名
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修【中堅／学生・新任】 ☐ ③ 交流(実践報告・交流会)		代表者(連絡窓口)
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修【中堅／学生・新任】 ☐ ③ 交流(実践報告・交流会)		
☐ ① 一般(基調講演等) ☐ ② 研修【中堅／学生・新任】 ☐ ③ 交流(実践報告・交流会)		
推薦欄 ※2	【第1分科会(中堅)の研修希望者がいる場合のみ】研修希望者は、福祉職・教員・行政職としておおむね5年以上の現場経験を有し、福祉施設・事業所・学校・自治体等の職場において職員を指導・助言する立場にあることを保証し、また以下の理由で研修への参加を推薦します。 《推薦理由》 (推薦者)法人名等・役職・氏名 (印)	
備考欄 ※情報保障やバリアフリー対応について配慮が必要な場合はこちらにお書き添えください。		
状況によりご希望通りの対応ができない場合があります。その際はあらかじめご連絡いたしますので、ご了承ください。		

※1 参加希望コース欄は、「一般／研修／交流」いずれかにチェックを入れ、研修希望者は「中堅／学生・新任」いずれかに○をつけてください。

※2 研修(中堅)参加希望者は、所属の施設・事業所、社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、学校長・教育委員会、自治体等から推薦を得てください。

(公財)糸賀一雄記念財団 FAX: 077-567-1708 E-mail: itoga-oubo@itogazaidan.jp

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 滋賀県立長寿社会福祉センター内 TEL: 077-567-1707